

車輪脱落事故防止のための点検・整備についてのご案内

謹啓

時下お客様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素は弊社の製品をご愛用賜り厚くお礼申し上げます。
さて、ホイールボルトの折損等による大型車の車輪脱落事故が近年増加しています。

国交省発表のデータによりますと、平成28年度の大型車(車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス)のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故の発生件数は56件(うち人身事故は3件)で、前年度に比べ15件増加しています。

特に、11月から3月の期間に36件(全体の64%)が発生しており、大型自動車の車輪脱落事故は冬期に発生する傾向にあります。

つきましては、大型自動車等の車輪脱落を防ぐため、タイヤ交換及び日常点検において、特に以下の4つの事項について徹底した点検・整備を実施下さいますようお願い致します。

【車輪脱落防止のため徹底をお願いしたい4つの事項】

- ① 規定トルクでのホイールナットの確実な締め付け
- ② タイヤ交換後、50～100km走行後の増し締めの実施
- ③ 日常(運行前)点検での車輪の取付状態の確認
- ④ ホイールに適合したボルト、ナットの使用

謹白

添付資料

- ①リーフレット「ストップ！！ザ・車輪脱落事故」
- ②リーフレット「大型トレーラ ホイール ナットの締め要領」